

モニつうとは、“モニタリング+通信”のこと。環境放射線等の調査結果をお知らせし、自分たちの住むまちの環境を考える人が一人でも多くなることをめざす、青森県の広報誌です。

モニつう Monitor

NO.120

つながり 支えあい ともにつくる

私がお伝え
いたします。



モニちゃん

身の厚さと
甘みとうま味が
身上

じっくり育てた
むつ湾産ホタテを
味わって！



Contents

コンテンツ

- p.1 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果
- p.5 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果
- p.7 リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果

- p.8 環境放射線等モニタリングのしくみ
- p.9 東通原子力発電所温排水影響調査結果
- p.10 県からのお知らせ

Pick
up!

おいしいものを作る人々



横浜町



原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果

令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月)の調査結果

令和2年10月～12月の調査結果は、「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。」と評価されました。

空間放射線

人間が体外から受ける空間放射線には、宇宙から降りそそいでくるもの(宇宙線)や、大地などからのものがあります。宇宙線の量は、緯度によって差がありますが、同じ場所であればほとんど変わりありません。また、大地などからの放射線の量は、地質の違いなど場所によって差があります。

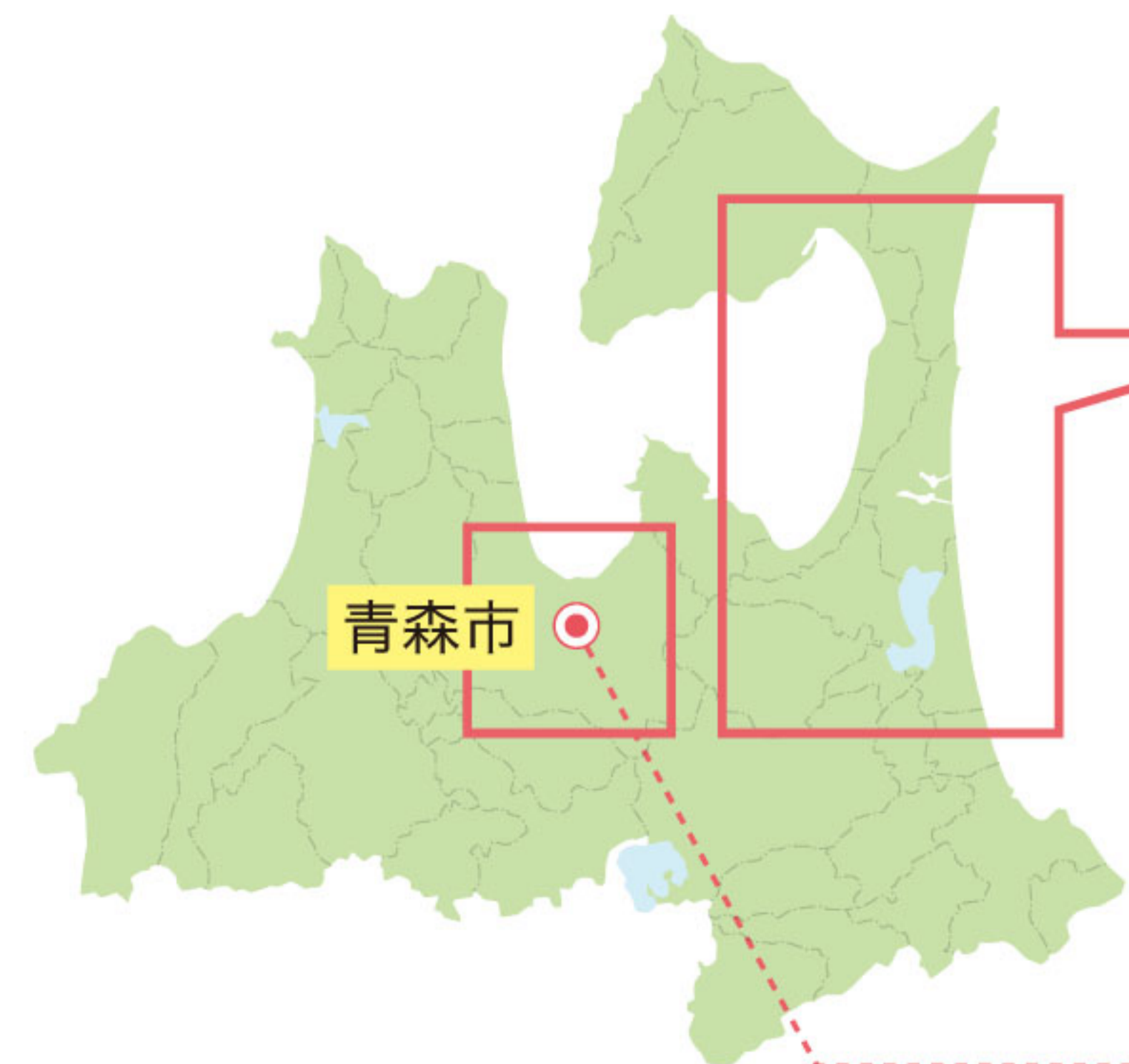
空間放射線は、同じ場所であっても、気象条件などによって変動し、特に、雨や雪が降ると一時的に高くなります。また、雪が積もっている冬の間は、大地からの放射線がさげられるため、平均的に低くなります。

空間放射線量率

1時間当たりの空間放射線量を表します。この調査で使用している測定器は、エネルギーの高い宇宙線を除くようにしているため、グラフに示している空間放射線量率は、主に大地などからの自然の放射線によるものです。

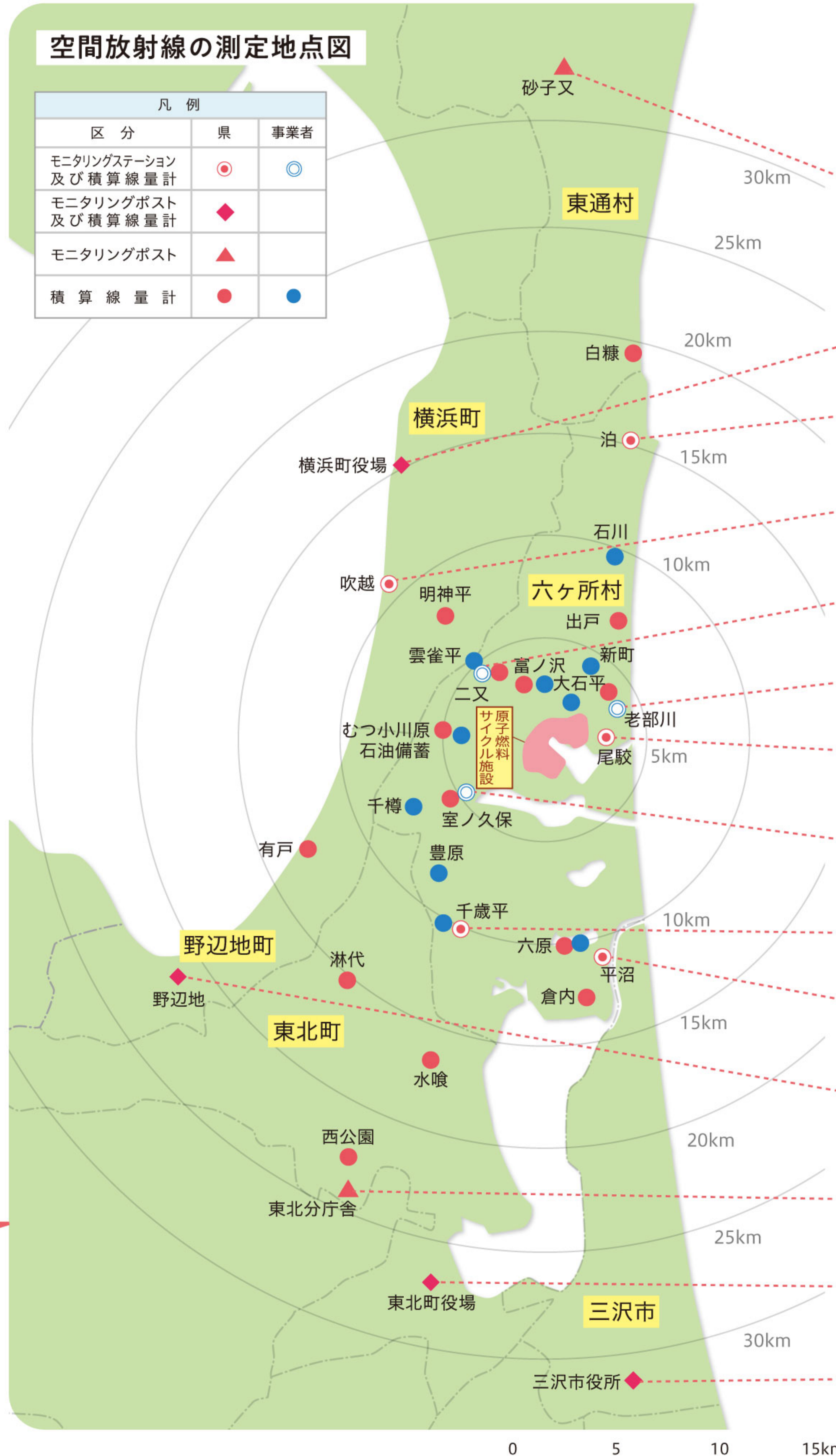
積算線量

RPLD(蛍光ガラス線量計)をモニタリングポイントに設置し、3か月間の空間放射線の積算量を測定しています。

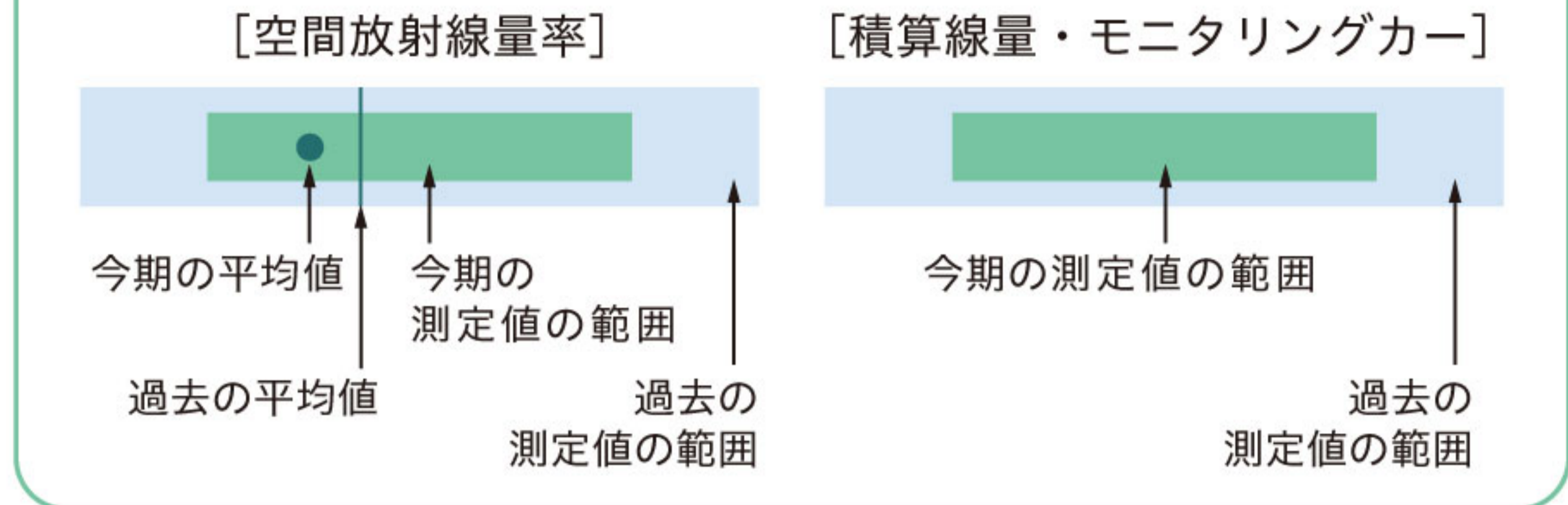


空間放射線の測定地点図

凡例		
区分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	○
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	
モニタリングポスト	▲	
積算線量計	●	●



グラフの見方



過去の測定値：平成27～令和元年度の測定値

1 空間放射線量率

単位：ナノグレイ/時

測定地点	測定結果						
	20	40	60	80	100	120	140
砂子又	[Bar chart showing measurement range and average]						
横浜町役場	[Bar chart showing measurement range and average]						
泊	[Bar chart showing measurement range and average]						
吹越	[Bar chart showing measurement range and average]						
二又	[Bar chart showing measurement range and average]						
老部川	[Bar chart showing measurement range and average]						
尾駁	[Bar chart showing measurement range and average]						
室ノ久保	[Bar chart showing measurement range and average]						
千歳平	[Bar chart showing measurement range and average]						
平沼	[Bar chart showing measurement range and average]						
野辺地	[Bar chart showing measurement range and average]						
東北分庁舎	[Bar chart showing measurement range and average]						
東北町役場	[Bar chart showing measurement range and average]						
三沢市役所	[Bar chart showing measurement range and average]						
青森(青森市)	[Bar chart showing measurement range and average]						

2 積算線量

単位：マイクログレイ/91日

測定地点	測定結果						
	70	80	90	100	110	120	130
六ヶ所村及び周辺地域36地点	[Bar chart showing measurement range]						
青森市1地点	[Bar chart showing measurement range]						

3 モニタリングカーによる空間放射線量率

単位：ナノグレイ/時

測定地点	測定結果						
	20	40	60	80	100	120	140
六ヶ所村及び周辺地域23地点	[Bar chart showing measurement range]						
青森市1地点	[Bar chart showing measurement range]						
走行測定(六ヶ所村及び周辺地域9ルート)	[Bar chart showing measurement range]						





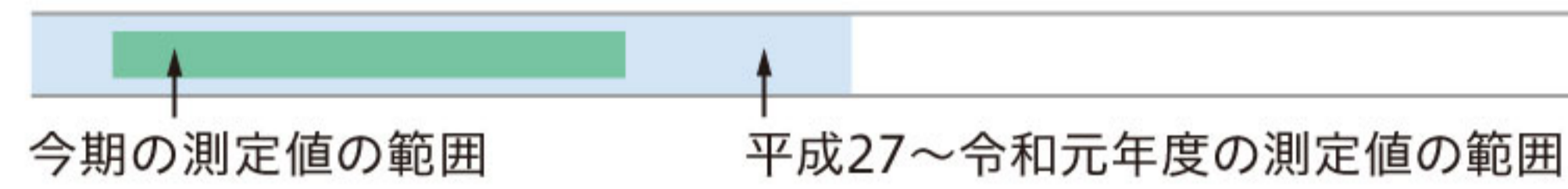
原子燃料サイクル施設に係る 環境放射線等モニタリング結果

令和2年度第3四半期(令和2年10月~12月)の調査結果

環境試料中の放射能

グラフの見方

①大気浮遊じん(全アルファ放射能/全ベータ放射能)の場合



検出限界※1以下の測定値は0として表示しています。

※1. 検出限界: 大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、計数誤差の3倍を検出限界として設定しています。

②その他の場合



定量下限値※3未満の測定値が含まれる場合、定量下限値未満の範囲をグラデーションで表示しています。

※2. 気体状ベータ放射能については、平成27~令和元年度の測定値の範囲。また平成23年3月に発生した東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる測定値は、過去の測定値の範囲には含まれていません。

※3. 定量下限値: 測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・測定項目ごとに定めているものです。

環境試料の採取地点図



ベクレル(Bq): 放射能

放射能は放射線を出す能力のことで、放射能を持つ物質を放射性物質といいます。放射能の強さは1秒間に壊変する原子核の数で表され、ベクレルという単位を用います。私たちの体にも放射性物質が含まれており、例えば、体重60kgの人の体には、炭素-14が約3,000ベクレル存在します。

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4、7、10、1月	☼	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
ウラン	~0.001				
大気(気体)	連続	☀️	ベータ放射能	~0.1	キロベクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.1	
			フッ素	~0.1	
大気(水蒸気)	毎月	☁️	トリチウム	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
大気(粒子)	4、7、10、1月		フッ素	~0.1	マイクログラム/立方メートル
表土	7月	🌱	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム乾
			ストロンチウム-90	~0.01	
			ヨウ素-129	~0.001	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
			アメリカシウム-241	~0.001	
			キュリウム-244	~0.001	
			ウラン	~0.001	
精米	収穫期1回	🌾	炭素-14	~0.1	ベクレル/キログラム生
松葉	4、10月	🌲	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			ウラン	~0.001	

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	単位	
			0.0001 0.001 0.01 0.1 1 10 100 400		
大気浮遊じん	4、7、10、1月	☼	全アルファ放射能	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
			全ベータ放射能	~0.1	
			セシウム-137	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
			ウラン	~0.001	
大気(気体)	連続	☀️	ベータ放射能	~0.1	キロベクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	~0.1	
			フッ素	~0.1	
大気(水蒸気)	毎月	☁️	トリチウム	~0.1	ミリベクレル/立方メートル
大気(粒子)	4、7、10、1月		フッ素	~0.1	マイクログラム/立方メートル
降下物	年間	☔️	セシウム-137	~0.1	ベクレル/平方メートル
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
ウラン	~0.001				
雨水	毎月	☔️	トリチウム	~0.1	ベクレル/リットル
			セシウム-137	~0.1	
陸水	7、10月(河川水)	🌊	セシウム-137	~0.1	ミリベクレル/リットル
	4、7、10、12月(湖沼水)		トリチウム	~0.1	
	ストロンチウム-90		~0.01		
	プルトニウム-238		~0.001		
	プルトニウム-239+240		~0.001		
	ウラン		~0.001		
4、7、10、1月(水道水、井戸水)	フッ素	~0.1	ミリグラム/リットル		
陸土	7、10月(河底土)	🌱	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム乾
	10月(湖底土)		セシウム-137	~0.1	
	ヨウ素-129		~0.001		
	プルトニウム-238		~0.001		
	プルトニウム-239+240		~0.001		
	アメリカシウム-241		~0.001		
	7月(表土)		キュリウム-244	~0.001	
ウラン	~0.001				
フッ素	~0.1	ミリグラム/キログラム乾			
牛乳(原乳)	4、7、10、1月	🥛	セシウム-137	~0.1	ベクレル/リットル
			炭素-14	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
ウラン	~0.001	ミリグラム/リットル			
フッ素	~0.1				
精米	収穫期1回	🌾	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			炭素-14	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
ウラン	~0.001	ミリグラム/キログラム生			
フッ素	~0.1				
野菜	収穫期1回	🥬	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			炭素-14	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
ウラン	~0.001	ミリグラム/キログラム生			
フッ素	~0.1				
牧草・デントコーン	収穫期2回(牧草)	🌱	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
	収穫期1回(デントコーン)		ストロンチウム-90	~0.01	
	プルトニウム-238		~0.001		
	プルトニウム-239+240		~0.001		
ウラン	~0.001	ミリグラム/キログラム生			
フッ素	~0.1				
ワカサギ・シジミ	漁期1回	🐟	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
プルトニウム-239+240	~0.001	ミリグラム/キログラム生			
ウラン	~0.001				
フッ素	~0.1				
松葉	4、10月	🌲	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			ウラン	~0.001	
海水	4、7、10、1月	🌊	セシウム-137	~0.1	ミリベクレル/リットル
			トリチウム	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
プルトニウム-238	~0.001	ミリベクレル/リットル			
プルトニウム-239+240	~0.001				
海底土	10月	🌱	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム乾
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
			プルトニウム-239+240	~0.001	
			アメリカシウム-241	~0.001	
			キュリウム-244	~0.001	
海産生物	漁期1回(イカ、ホタテ、アワビ、ヒラタケ、アサギ、ヒラタケ、ウニ、コンブ) 第1、3四半期(イカ) 第1、3四半期(アサギ) 第2、4四半期(ムサキイガイ等)	🌱	セシウム-137	~0.1	ベクレル/キログラム生
			トリチウム	~0.1	
			ストロンチウム-90	~0.01	
			プルトニウム-238	~0.001	
プルトニウム-239+240	~0.001				



東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果

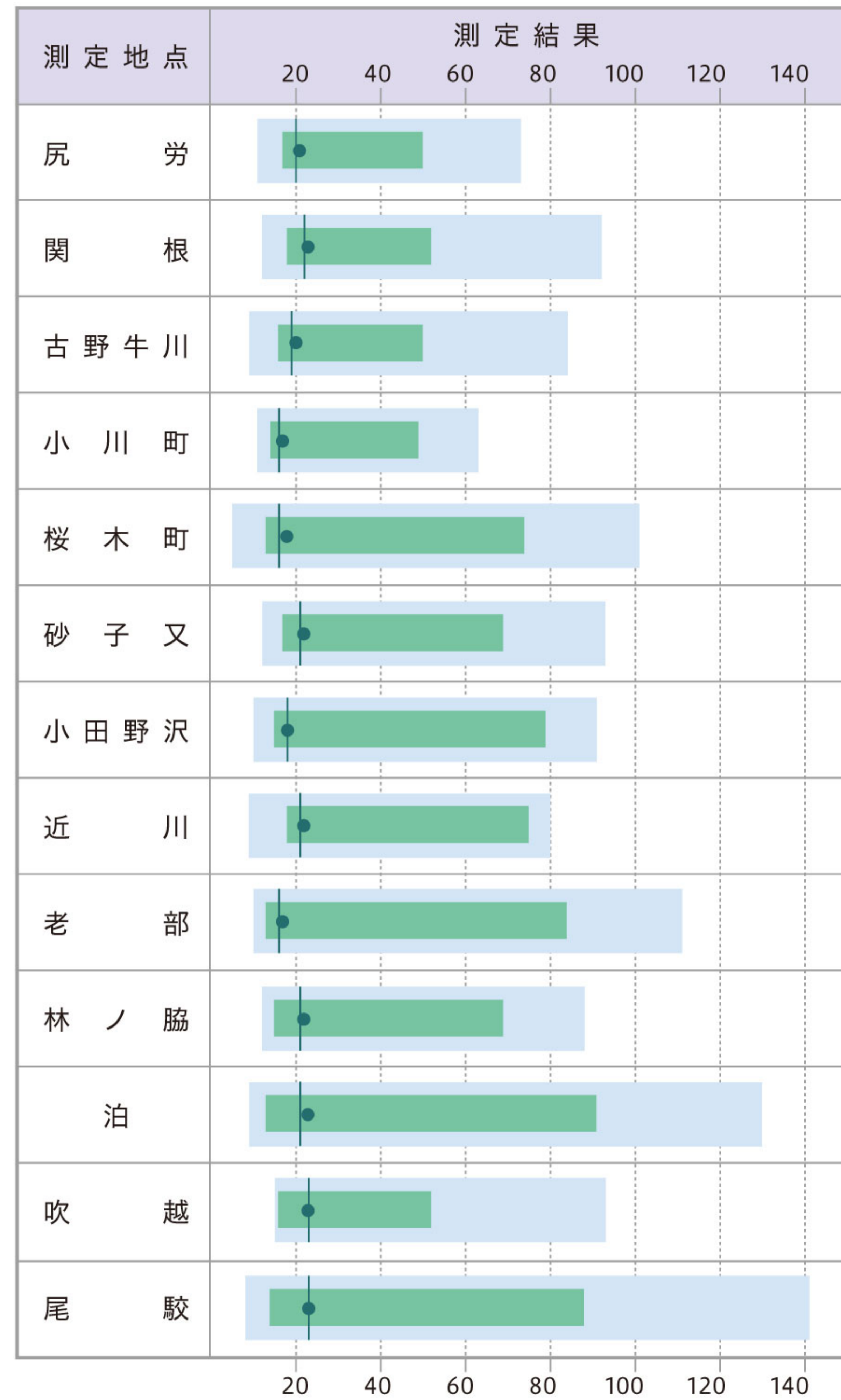
令和2年度第3四半期(令和2年10月~12月)の調査結果

令和2年10月~12月の調査結果は、「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。東通原子力発電所からの影響は認められなかった。」と評価されました。

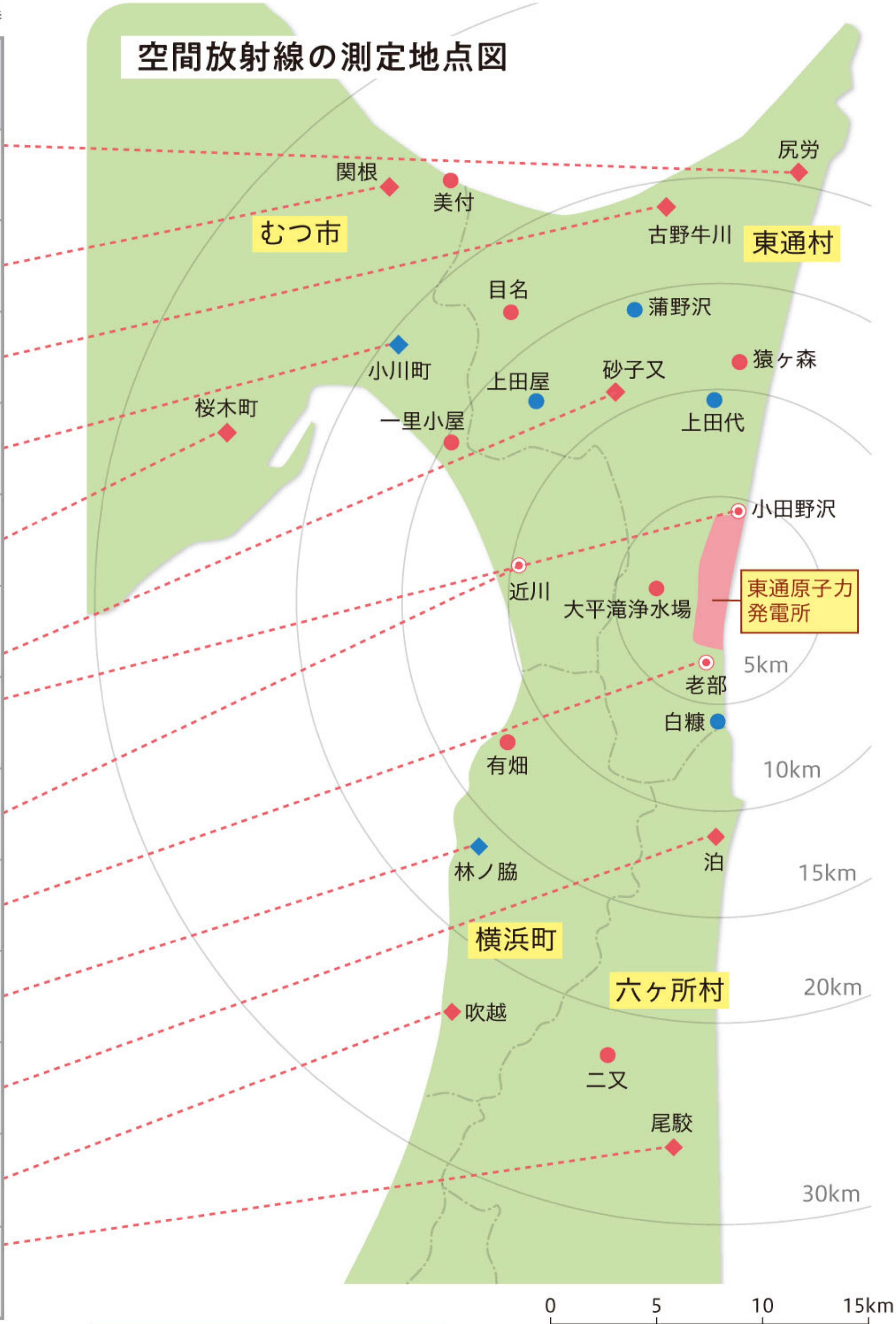
空間放射線

1 空間放射線量率

単位: ナノグレイ/時



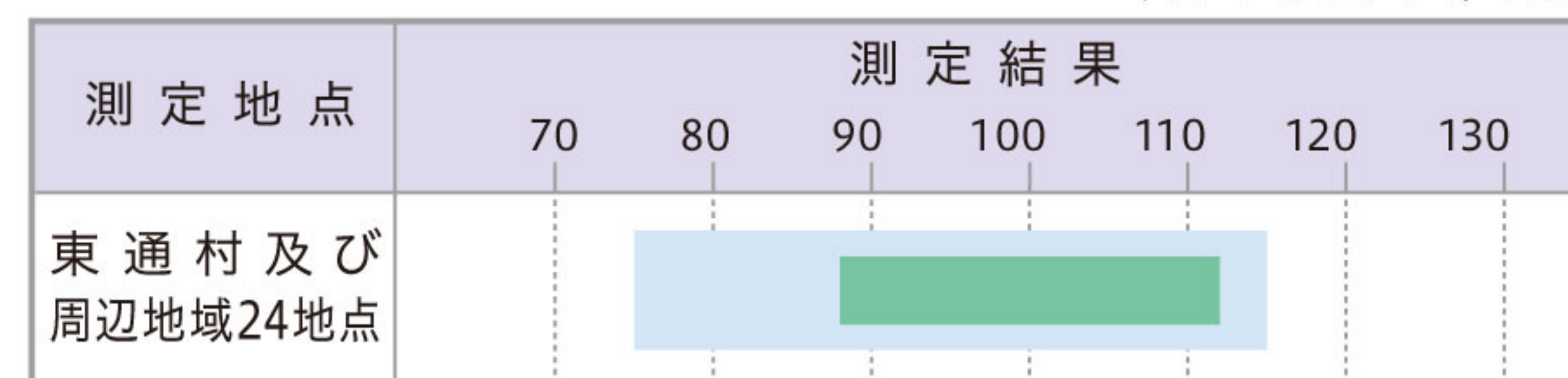
空間放射線の測定地点図



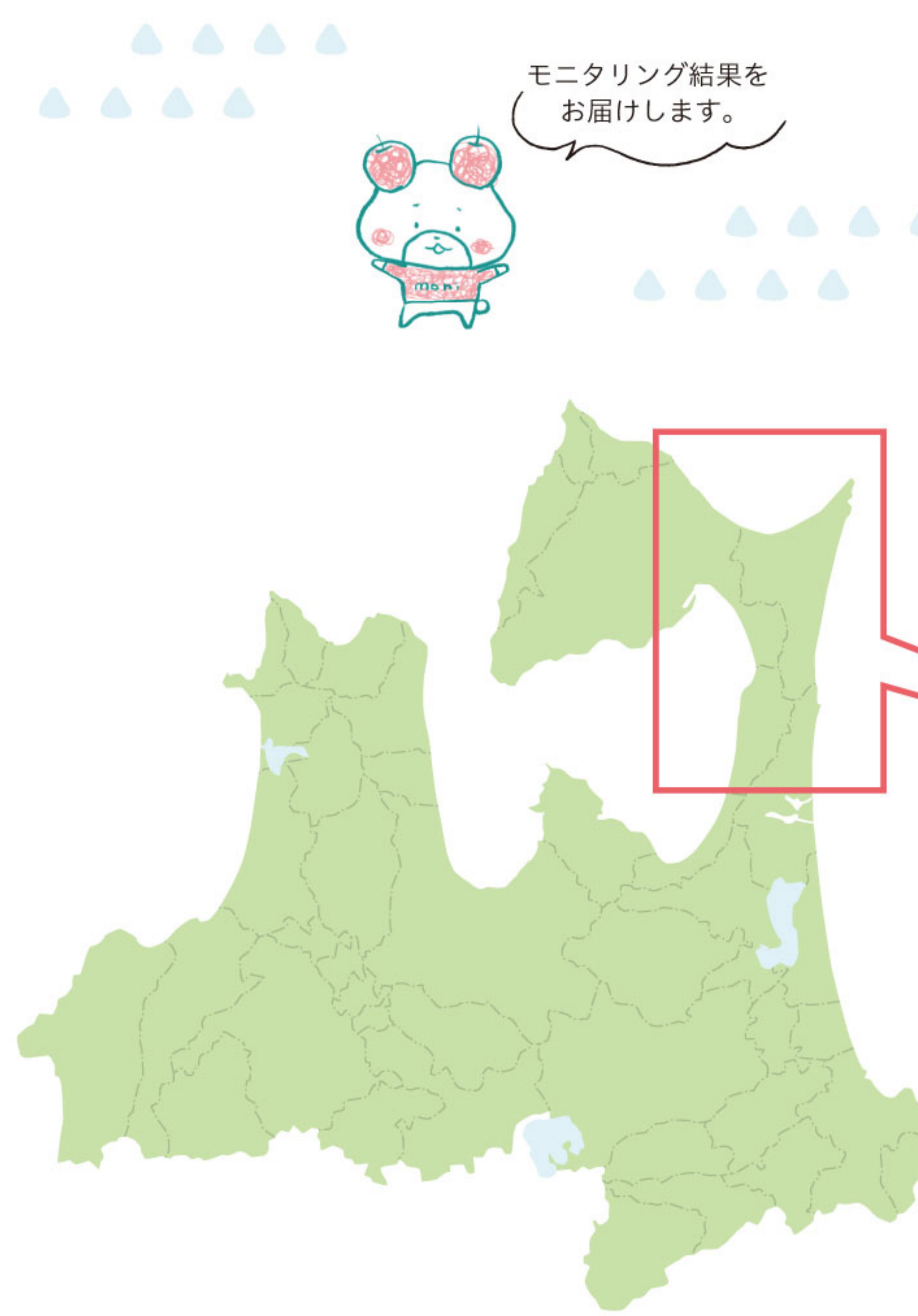
凡 例		
区 分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	●
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	◆
積算線量計	●	●

2 積算線量

単位: マイクログレイ/91日



グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。



環境試料の採取地点図



環境試料中の放射能

試料の種類	採取時期	記号	測定結果	測定結果						単位
				0.0001	0.001	0.01	0.1	1	10	
大気浮遊じん	連続	☁️	全ベータ放射能	[Bar chart]						ベクレル/立方メートル
大気(気体)	連続	☀️	セシウム-137	[Bar chart]						ミリベクレル/立方メートル
			ヨウ素-131	[Bar chart]						ミリベクレル/立方メートル
降下物	年間	☔️	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/平方メートル
			ストロンチウム-90	[Bar chart]						
			プルトニウム-238	※今期は対象外						
陸水	4, 10月(河川水) 4, 7, 10, 1月(水道水) 7, 1月(井戸水)	💧	セシウム-137	[Bar chart]						ミリベクレル/リットル
			トリチウム	[Bar chart]						ベクレル/リットル
			セシウム-137	[Bar chart]						※今期は対象外
表土	7月	🌱	プルトニウム-238	[Bar chart]						ベクレル/キログラム乾
精米	収穫期1回	🍷	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
野菜	収穫期1回 (ハレシヨ、ダイコン、 ハクサイ、キャベツ、 アブラナ)	🥬	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ヨウ素-131	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
牛乳(原乳)	4, 7, 10, 1月	🥛	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/リットル
牛肉	1月	🐮	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	※今期は対象外						
牧草	収穫期2回	🌱	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
松葉	5, 11月	🌲	ヨウ素-131	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ストロンチウム-90	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
海水	4, 7, 10, 1月	🌊	セシウム-137	[Bar chart]						ミリベクレル/リットル
海底土	7月	🏠	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム乾
			プルトニウム-238	※今期は対象外						
海産生物	漁期1回 (ヒラメ、カレイ、 ウスメバル、コウナゴ、 アヒメ、ホタテ、アサビ、 コンブ、タコ、ウニ 4, 10月(チガイソ) 7, 1月(ムラサキガイ)	🐟	セシウム-137	[Bar chart]						ベクレル/キログラム生
			ヨウ素-131	[Bar chart]						
			ストロンチウム-90	[Bar chart]						
			プルトニウム-238	[Bar chart]						



リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング結果

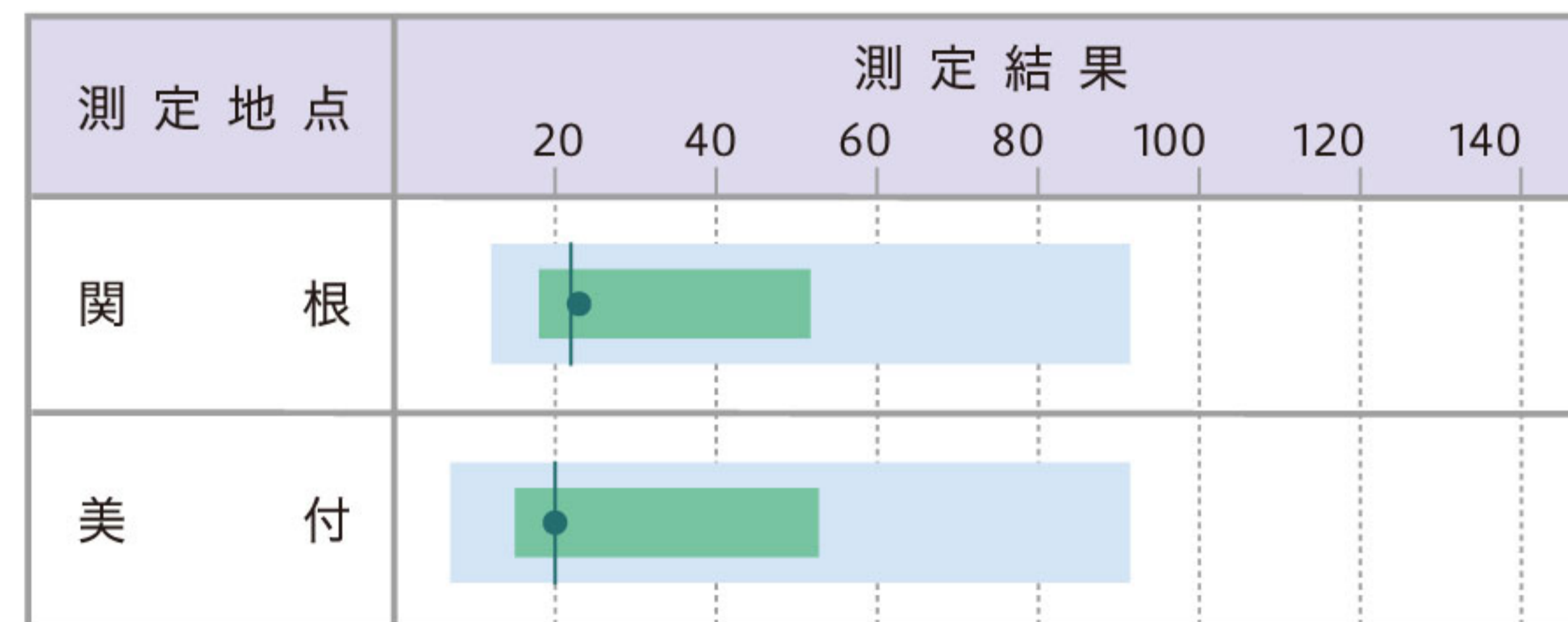
令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月)の調査結果

現在、リサイクル燃料貯蔵株式会社により、むつ市において「リサイクル燃料備蓄センター」の建設工事が行われています。県及びリサイクル燃料貯蔵株式会社では、平成20年度から同センターにかかる環境放射線の事前調査を実施しています。令和2年10月～12月の調査結果は、「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議評価委員会」で審議され、「これまでと同じ水準であった。」と評価されました。

空間放射線

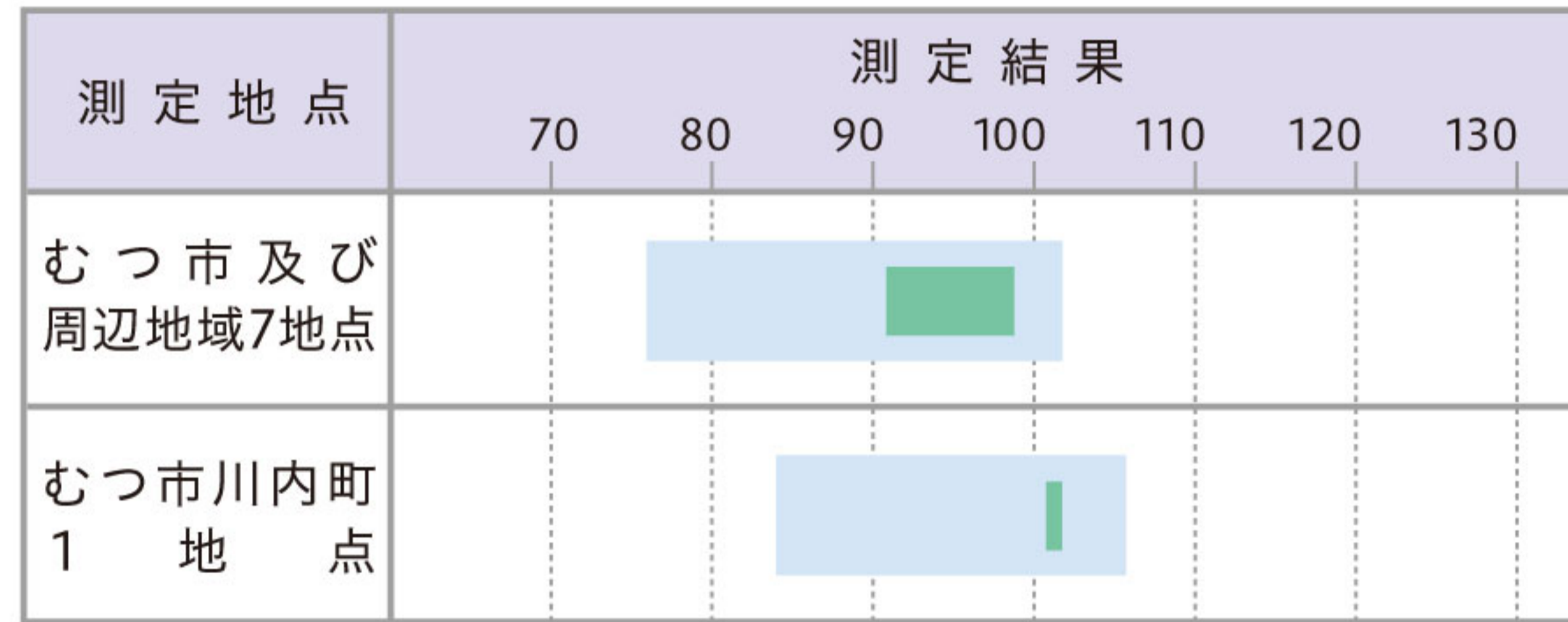
1 空間放射線量率

単位：ナノグレイ/時

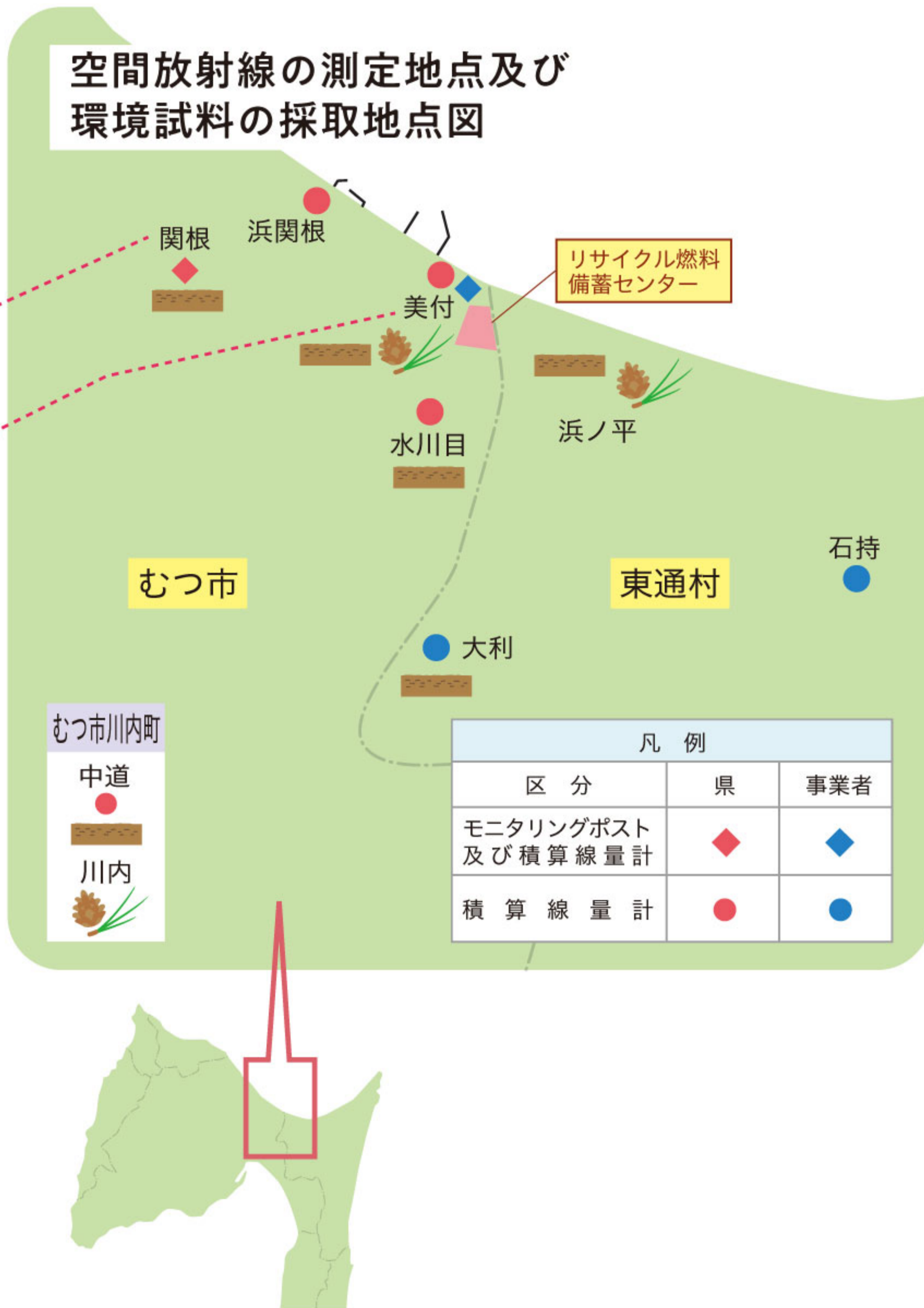


2 積算線量

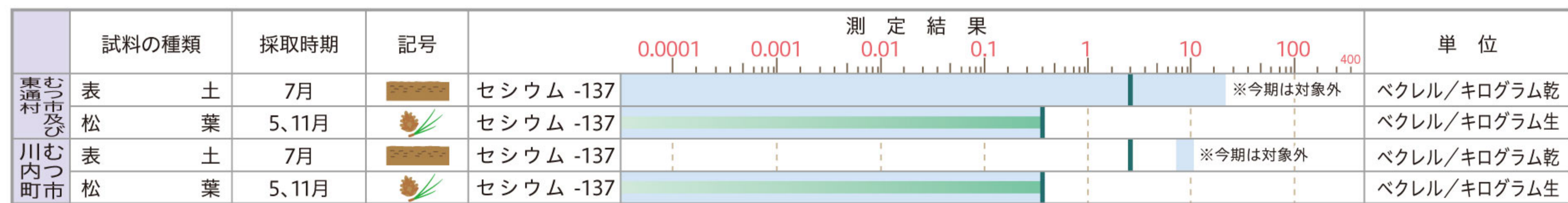
単位：マイクログレイ/91日



空間放射線の測定地点及び環境試料の採取地点図



環境試料中の放射能



グラフの見方は、空間放射線はp.2、環境試料中の放射能はp.3をご覧ください。

グレイ(Gy)：吸収線量

いろいろな物質に放射線があたるとき、吸収される放射線量を数値に表したものです。

- 1Gy (グレイ)
 - 1,000mGy (ミリグレイ)
 - 100万μGy (マイクログレイ)
 - 10億nGy (ナノグレイ)

シーベルト(Sv)：実効線量

放射線や放射能の身体への影響を数値に表したものです。私たちは、自然界からも年間平均2.4mSv(ミリシーベルト)の放射線量を浴びています。その他、人工的に浴びる放射線量の一年間の限度は1mSvとされています。

- 1Sv (シーベルト)
 - 1,000mSv (ミリシーベルト)
 - 100万μSv (マイクロシーベルト)
 - 10億nSv (ナノシーベルト)

こんなに工程があるんだモニ〜。



環境放射線等モニタリングのしくみ

県では、皆さんの健康と安全を守るため、施設から環境への影響をチェックしています。

1 監視測定

原子力センター

県では、こちらの施設で県内の原子力関連施設から環境に影響があるかどうか常時チェックしています。



空間放射線の測定

原子力施設周辺の空間放射線量率を測定し、公表しています。

- モニタリングステーション
- モニタリングポスト
- モニタリングカー



(連続測定) ※モニタリングステーションやモニタリングポストでは常時監視(連続測定)を行っており、測定値はモニタリングステーションやモニタリングポストのデータ表示盤でも確認できます。

リアルタイムデータの表示

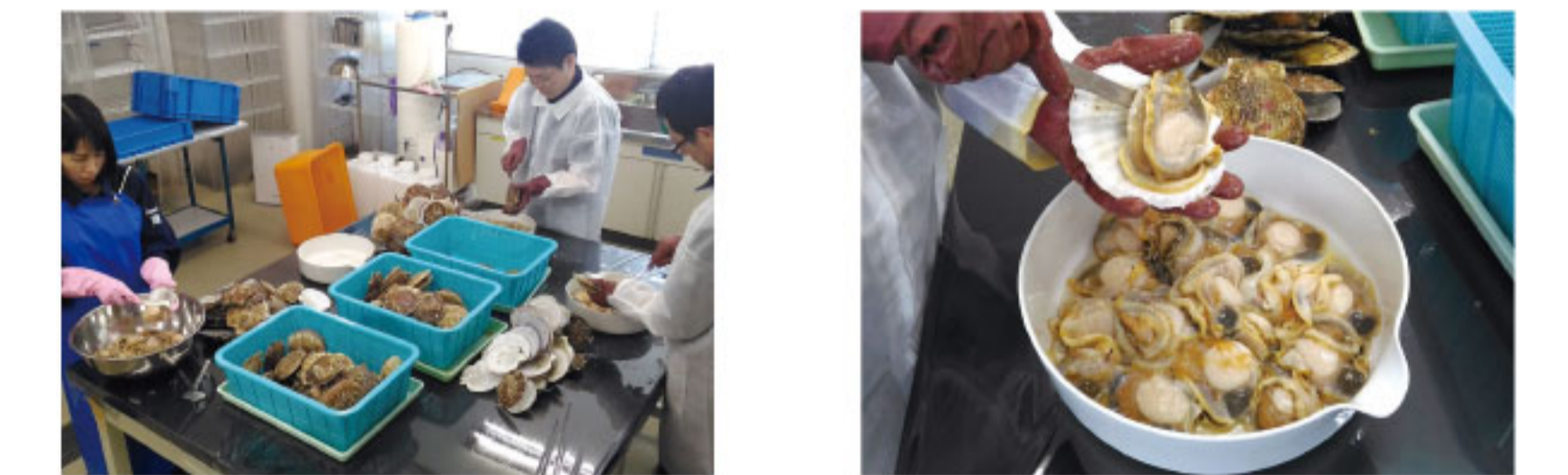
- 青森県庁、原子力センター
- 東通村役場、むつ市役所、横浜町役場、三沢市役所
- 六ヶ所村泊地区ふれあいセンター
- 六ヶ所村文化交流プラザ(スワンニー)
- 野辺地町観光物産PRセンター
- 東北町コミュニティセンター



環境試料中の放射能の測定

水、土、海水や海底土、農畜産物、海産物などの環境試料中の放射能を分析・測定します。

1 前処理



2 乾燥・灰化



3 分析・測定



2 データの評価・確認

青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議

- 学識経験者
- 立地市村・周辺市町村の長
- 関係団体の長
- 知事以下県職員など

※回数：評価委員会/四半期ごと(3か月に1回)・監視委員会/1回(8~9月頃)



3 データの公表

- 広報誌「モニタリングつうしんあおり」
- ラジオ：RAB ラジオ 県広報タイム「環境放射線モニタリング結果のお知らせ」
- 新聞広告：「環境放射線等の調査結果のお知らせ」
- ホームページ「青森県の原子力安全対策」
<https://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/genshiryoku.html>

リアルタイムでの空間放射線モニタリングはこちらから。



Check!

東通原子力発電所 温排水影響調査結果

令和2年度第2四半期及び第3四半期の調査結果

温排水とは…



原子力発電は火力発電と同じように蒸気のかでタービンを回して発電します。その過程で、蒸気を復水器の中で冷やし体積の小さい水に戻すために、多くの海水が必要です。この蒸気を冷やした海水が取水したときの水温より少し上昇して再び海に戻されたものが「温排水」です。なお、原子炉の水と海水の配管は分かれていますので、温排水に原子炉内の放射能を含んだ水が混ざることはありません。

青森県と東北電力株式会社は、東通原子力発電所の温排水が、施設前面海域及び周辺海域に与える影響を把握するため、調査を継続しています。ただし、現在は稼働していないため、温排水は排出されていません。

なお、令和2年度第2四半期報（モニタリングつうしんNo.119）に誤りがあったことから、訂正後のデータに修正の上、今号では第3四半期の結果と併せて掲載します。

水温・塩分

24地点において、水温、塩分を測定した結果、第2四半期における表層の水温は20.1～24.5℃、塩分は33.2～33.6の範囲、第3四半期における表層の水温は12.8～16.4℃、塩分は33.7～34.0の範囲でした。

流況

2調査地点において、流向、流速を測定した結果、第2四半期における流向は汀線にほぼ平行な流れで、北及び南東～南南西に向かう流れが卓越しており、流速は40cm/sまでが大部分を占めていました。第3四半期における流向は汀線にほぼ平行な流れで、北北西～北北東及び南南西に向かう流れが卓越しており、流速は30cm/sまでが大部分を占めていました。

卵・稚仔、プランクトン

6調査地点において魚類の卵、稚仔の出現状況を調査した結果、第2四半期においてはカタクチイワシ等12種の卵の出現が確認されました。また、カタクチイワシ等13種類の稚仔の分布が確認されました。第3四半期においてはキュウリエソ等6種の卵の出現が確認されました。また、ムラソイ等5種類の稚仔の分布が確認されました。

6調査地点において動物プランクトン及び植物プランクトンの出現状況を調査した結果、第2四半期及び第3四半期においては主として節足動物及びハプト植物の分布が確認されました。

海藻草類・底生生物

4地点において、分布状況を調査した結果、第2四半期においてはサビ亜科等60種の海藻草類とキタムラサキウニ等7種の底生生物（平均個体数5個体/m²）が確認されました。第3四半期においてはサビ亜科等56種の海藻草類とキノコ科等7種の底生生物（平均個体数7個体/m²）が確認されました。

水質

測定項目	第2四半期（訂正後）	第3四半期	
水素イオン濃度(pH)	8.1	8.1	
化学的酸素要求量(COD)	酸性法 (mg/L)	0.8～1.3	0.6～1.4
	アルカリ性法 (mg/L)	0.2～0.5	0.2～0.4
溶存酸素量(DO) (mg/L)	7.6～7.9	7.9～11.7	
透明度 (m)	11.0～14.5	14.0～19.0	
浮遊物質(SS) (mg/L)	定量下限値未満～2	定量下限値未満～2	
全窒素 (T-N) (mg/L)	0.09～0.15	0.08～0.12	
全リン (T-P) (mg/L)	0.009～0.010	0.011～0.014	

底質

測定項目	第2四半期（訂正後）	第3四半期
化学的酸素要求量(COD) (mg/g 乾泥)	0.3～1.4	0.4～1.4
強熱減量 (IL) (%)	1.1～4.1	1.0～2.7
全硫化物 (T-S) (mg/g 乾泥)	定量下限値未満	定量下限値未満

東通原子力発電所温排水影響調査に関するお問い合わせはこちら

◎青森県農林水産部水産局水産振興課
〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-722-1111(代)(内4693)
直通: 017-734-9592

◎地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所
〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL: 017-755-2155

県からのお知らせ

お知らせ
モニ～。



青森県地域防災計画 —原子力災害対策編— について 【令和3年3月24日付けで修正を行いました】

青森県地域防災計画って？

地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、都道府県、市町村の防災会議が地域の実情に即して作成する、災害対策全般にわたる基本的な計画です。

青森県では、「風水害等災害対策編」「地震・津波災害対策編」「火山災害対策編」「原子力災害対策編」の4編の地域防災計画を作成しています。

そのうち「原子力災害対策編」では、原子力災害の発生及び拡大を防止し、復旧を図るために必要な対策について、県、市町村、指定公共機関等の防災関係機関がとるべき措置を定めています。

今回の修正のポイントは？

修正の趣旨

前回の修正(平成30年3月)からの国の防災基本計画、原子力災害対策指針の改正、「新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた感染症流行下での原子力災害時における防護措置の考え方」を踏まえた修正等を行いました。

今回の主な修正内容

- 自然災害との複合災害が発生した場合に、人命の安全を第一とした防護措置を実施することについて整理しました。
- 感染症流行下において原子力災害が発生した場合の屋内退避、避難収容等防護活動の実施について追加しました。
- 安定ヨウ素剤の配布体制に関し、甲状腺の内部被ばく及び健康影響の年齢による違いを考慮し、服用を優先すべき対象者について記載しました。
- 安定ヨウ素剤の管理場所として薬局を追加しました。

!! 青森県地域防災計画 —原子力災害対策編— はこちらから御覧いただけます!!
http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikikanri/atom/files/210324_bousaieikaku.pdf

チェックモニ



Pick up!

おいしいものを作る人々



横浜町

ホタテ漁業者

秋田 正明 さん

北海道に次いで水揚げ量全国2位を誇るむつ湾産のホタテ。名実ともに青森県の食の代名詞です。豊かな山々からミネラルを多く含む水が注がれることでホタテの餌となる植物プランクトンが育まれ、高品質のホタテが生産されます。

横浜町では、ホタテ貝の耳の部分に穴を開けてアゲピンを通し、ロープに結んで海に吊るす「耳吊り(みみづり)」と呼ばれる技法の養殖がメイン。成貝での出荷が主体の横浜町漁協は平成28年に過去最高となる8,000tを水揚げしました。「見た目は小ぶりに見えますが、剥いてみると貝柱が大きく、他の産地と比べて甘みが強いのが特徴です」と話す秋田さんは、この道一筋38年のベテラン漁業者。「やっぱり刺身で食べてもらいたいですね」と、素材の味に自信をのぞかせます。

焼いてよし、煮てよし、生でよしのホタテは毎日食べても飽きのこない万能食材。ホタテは通年通しておいしく食べられる食材で、厚みのあるプリプリとした貝柱の食感と濃厚なうま味を堪能することができます。



山と海のミネラルたっぷり。むつ湾の豊かな海で育てられたホタテは、青森県を代表する食材。



38年の経験から湾の環境や気候、水温など最適な技で育成。



貝柱は大きくプリプリ！刺身が格別です。



“むつ湾ホタテ”のご馳走夏カレー

旬の大きめホタテがごろごろ入った「ホタテカレー」は、貝柱の味が濃厚で特別な味わい。お好みのスパイスやカレールーを用いて、香り豊かに仕上げましょう！

材 料 (4人分)

- ・ポイルホタテ…8個
- ・たまねぎ…1個
- ・にんじん…1/2個
- ・じゃがいも…2個
- ・ブロッコリー…1/3株
- ・カレールー…1/2個(約95g)
- ・サラダ油…少々
- ・水…500ml
- ・りんご…すりおろし適宜

作り方

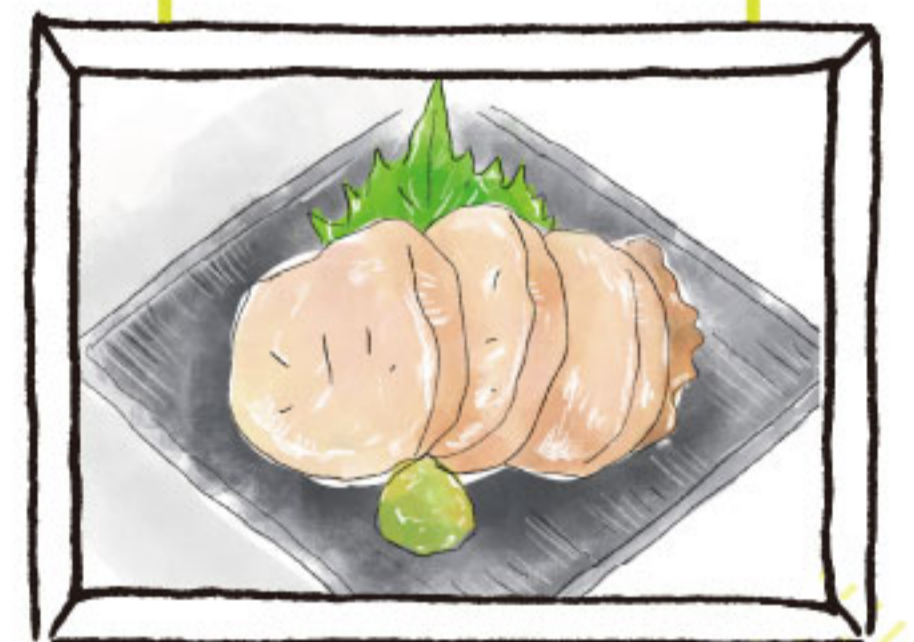
- ① たまねぎはくし形に、にんじんは乱切りに、じゃがいもは4等分に切る。
- ② ブロッコリーは小房に分け、ズッキーニは8mm程度の輪切りに。
- ③ 鍋にサラダ油を熱し、①②とホタテを加えて焦がさないように炒める。
- ④ 水とりんごのすりおろしを加えて煮込み、材料が柔らかくなったらカレールーを入れ、とろみがついたら完成。



甘みとうま味を堪能できるモニ～



“むつ湾ホタテ”のお刺身



おいしそうモニ～



モニタリングに関するお問合せはこちら

◎青森県危機管理局原子力安全対策課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL: 017-734-9252・017-734-9253

◎青森県原子力センター青森市駐在

〒030-8566 青森市東造道1-1-1(青森県環境保健センター内)
TEL: 017-736-5417

◎青森県原子力センター

〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎400-1
TEL: 0175-74-2251

◎青森県原子力センター東通村駐在

〒039-4292 東通村大字砂子又字沢内5-34(東通村役場内)
TEL: 0175-27-2111(代)(内線281)